



まくべ

わたしたちのまち

(昭和62年7月1日現在)

人口	21,724	(+15)
男	10,608	(+4)
女	11,116	(+11)
世帯数	6,690	(+17)
一人のうごき(6月中) —		
転入	69人	転出 62人
出生	17人	死亡 9人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



夏の光に揺れるショウブ

北国・十勝にも熱えるような夏がやってきました。ここ幕別運動公園では、1,200株のショウブが今を盛りと咲いています。

ショウブは古来、文武を尊ぶ人に愛された気高い花。鮮やかな紫色や純白のドレスのような花びらが、武家の気品を漂わせながら日の光に揺れています。

62年 **8**

No.427

町の台所のようす

昭和六十一年度予算の三月三十一日現在の執行状況をお知らせします。

これは町民の皆さんに、税金がどのように使われているか、また、財政運営がどのようになっているかを知っていただくためのものです。なお、執行結果(決算)は十二月に公表します。

私たちの住むマチをより住みやすくするために町ではいろいろな事業を進めています。その台所の内容はどうなっているのでしょうか。

六十一年度下半期は景気の低迷が続くなかで、適切なサービスを確保するため、できる限り予算を完全に執行するよう努めました。

六十一年度予算の三月末の執行状況は、一般会計が歳入で八一・九%(六十年度同期は八六・七%)、歳出で九四・七%(同九八・七%)となつています。また、公営企業会計も含めた九特別会計では、歳入が九三・一%(同九一・六%)、歳出が九〇・三%(同九九・七%)の執行率となっています。今後も出納整理期間中に、引き続き収入・支出が行われますので、決算(十二月に公表)での執行率は、今回よりかなり高くなります。

町税の収入率は九五・七%で、町民一人当たりの納税額は六万一千四百一十円となっています。六十一年度一般会計予算では、町民一人当たり要する経費は三十八万五千六百三十八円ですので、そ

のうちの十五・九%を町税で賄っていることになりました。

町の借金である町債は百二十九億円余りで、ほぼ町の一年間の全収入分を借金していることになりました。一方、町の貯金である基金は、総額で七億八百万円となっています。(表はすべて六十二年三月三十一日現在)

●一般会計執行状況

(単位：千円)

区分	科目	予算現額	執行額	執行率(%)	
歳入	地方交付税	2,912,659	2,912,659	100.0	
	町税	1,386,134	1,326,608	95.7	
	町債	1,354,500	454,300	33.5	
	諸収入	517,674	513,750	99.2	
	道支出金	615,988	360,161	58.5	
	国庫支出金	496,972	418,474	84.2	
	譲与税、交付金	264,636	264,636	100.0	
	分担金、負担金	299,388	286,822	95.8	
	使用料、手数料	162,766	158,796	97.6	
	その他	356,472	160,259	45.0	
	合計	8,367,189	6,856,465	81.9	
歳出	土木費	1,606,205	1,545,501	96.2	
	農林業費	1,049,262	1,002,830	95.6	
	公債費	1,606,103	1,606,055	99.9	
	民生費	1,116,137	1,033,680	92.6	
	議会、総務費	1,018,929	913,771	89.7	
	教育費	818,774	790,386	96.5	
	衛生費	361,732	353,370	97.7	
	消防費	332,471	325,594	97.9	
	商工費	205,515	198,100	96.4	
	労働費	18,208	16,862	92.6	
	その他	233,853	141,390	60.5	
		合計	8,367,189	7,927,539	94.7

●特別会計執行状況

(単位：千円)

区分	予算現額	歳入		歳出	
		収入額	執行率(%)	支出額	執行率(%)
国民健康保険	1,201,067	1,096,317	91.3	1,039,121	86.5
簡易水道	25,732	24,832	96.5	24,514	95.3
下水道	945,166	798,451	84.5	752,928	79.7
土地区画	762,433	762,433	100.0	760,592	99.8
営農用水道	14,263	14,263	100.0	13,202	92.7
飲供施設	8,829	8,829	100.0	8,708	98.6
老人保険	931,437	865,505	92.9	861,290	92.5
合計	3,888,927	3,570,630	91.8	3,460,355	89.0

● 基金の現在高

(単位：千円)

区 分	金 額
財政調整基金	668,000
減 債 基 金	13,000
教育施設建設基金	8,000
図 書 整 備 基 金	19,000
合 計	708,000

● 公営企業会計執行状況

(単位：千円)

会 計 名	区 分	収 入			支 出		
		予算現額	収入済額	% 執行率	予算現額	支出済額	% 執行率
水 道 事 業	収益的収支	236,645	245,114	103.6	236,645	233,856	98.8
	資本的収支	84,600	84,600	100.0	152,319	151,845	99.7
国民宿舎事業	収益的収支	313,030	309,224	98.8	310,443	296,109	95.4
	資本的収支	17,784	17,990	101.2	27,452	27,392	99.8

● 町債の現在高

(単位：千円)

区 分	金 額
一般公共事業債	244,690
一般単独事業債	2,769,999
辺地対策事業債	820,243
公有林、草地整備事業債	264,745
簡易水道事業債	27,435
そ の 他	8,781,857
合 計	12,908,969

● 町税の収入状況

(単位：千円)

区 分	予算現額(千円)	収入済額(千円)	収入率%	町民1人当たり負担額(円)
町 民 税	687,209	632,032	92.0	29,130
固定資産税	521,864	519,868	99.6	23,960
軽自動車税	8,339	8,418	100.9	388
町たばこ消費税	98,505	97,272	98.7	4,483
電 気 税	58,956	58,956	100.0	2,717
特別土地保有税	1,209	1,221	101.0	56
入 湯 税	10,052	8,841	88.0	407
合 計	1,386,134	1,326,608	95.7	61,141

農業委員選挙結果

当選	漆原 繁(相川)	216票	現
〃	泉 和雄(軍岡)	209票	新
〃	斉藤 左近(弘和)	207票	現
〃	鈴木 良秋(千住)	206票	現
〃	土田 勝雄(堤町)	204票	現
〃	沢田 清信(古舞)	197票	現
〃	広瀬 喜章(千住)	186票	現
〃	片山 利光(中里)	186票	現
〃	小林 信治(大豊)	174票	新
〃	山中 宏司(猿別)	173票	新
〃	寺林 幸雄(美川)	164票	現
〃	杉本 峰夫(明倫)	164票	現
〃	妹尾 守人(明野)	144票	新
〃	中村 勝美(日新)	141票	現
〃	佐藤 忠幸(暁町)	139票	現
落選	萩原 敏夫(糠内)	94票	新

選 任 委 員

奈良	武一(幕別町農協推せん)
山崎	武雄(札内農協推せん)
武田	明(町農業共済組合推せん)
松浦	武(町議会推せん)
横山	武()
美濃	性由()
氏家	明()
助川	忠美()

新しい農業委員決まる
会長に寺林幸雄氏

第十三回統一農業委員会委員
選挙の投票が七月十二日に行われ、即日開票の結果、新しい十五人の委員が決まりました。また、八人の選任委員も決まり、会長に寺林幸雄氏(美川)が再選されました。

幕別町農業委員会委員選挙は七月七日に告示され、十五人の定数に対して十六人が立候補し七月十二日に投票が行われました。身近な選挙とあって有権者の関心も高く、投票率は九六・五五%(前回五十九年は九六・

三三%)にもなりました。開票は午後七時半から町民会館で行われ、午後九時には新しい十五人の委員が決まりました。

七月二十日には第一回の農業委員会総会が開かれ、会長に寺林幸雄氏(美川)、会長代理に鈴木良秋氏(千住)が互選されました。

農業委員会は昭和二十六年、農地委員会など三組織を統合してつ

くられ、「農業者の利益代表機関」、「公正な行政委員会」、「行動する地域農業振興のリーダー」の三つの性格をもっています。農業委員は農地等の利用関係の調整、農地の

交換分合のあっせん、農業振興計画を立て推進するなど重要な役割をもっています。選挙によって選ばれる委員(選挙委員)のほかに、農業協同組合や農業共済組合および町議会から推せんされた学識経験者の委員(選任委員)八人の合わせて二十三人で委員会が構成されています。委員の任期は三年です。

この選挙の有権者は三〇以上の農地について耕作の業務を行う満二十歳以上の男女で、当日の有権者数は二千九百二十六人でした。投票は町内十八カ所の投票所で行われ、投票総数は二千八百二十五票、有効投票二千八百四票、無効投票二十一票

でした。選挙結果と選任委員の氏名は次のとおりです。

エキノコックス汚染進行

幕別町は 山菜などは必ず煮沸を

エキノコックス症とは、条虫の一種であるエキノコックス属の幼虫が人に寄生し、肝臓、肺、脳などを冒す病気です。

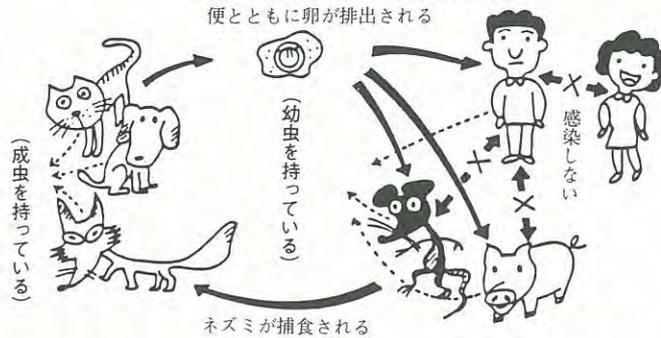
エキノコックスは全道的に広がりを見せています。十勝管内でもキツネやネズミ、ブタなどの媒介動物からエキノコックス虫が見つかり、一市十町村がエキノコックス症対策重点地域指定を受けています。また、全道では二百二十市町村のうち百三十市町村が重点地域の指定を受けています。幕別町は重点地域の指定を受けていませんが、近隣の帯広市や池田町が指定を受けていますので、安心できない状況にあります。

エキノコックス症の

感染経路と症状

エキノコックスの成虫はキツネ、イヌ、ネコなどの腸に寄生し、卵がこれらの動物の糞便とともに排泄され水、土、植物の葉やイヌ、ネコ、キツネの体毛に付着するなどして、いつか人やネズミの口から体内に入ります。卵は小腸で小虫となり、腸粘膜を通って血液の中に入り、いろいろな臓器に運ばれて、そこで幼虫になります。

〈エキノコックスの感染経路〉



エキノコックスの幼虫が肝臓に寄生しても、自覚症状が出るまでのいわゆる潜伏期は比較的長く、数年から十数年といわれています。進行期に入ると上腹部の不快感、膨満感、肝臓の肥大が認められるようになります。さらに進行すると腹水などがあらわれ末期となり、肝不全をおこし死亡することになります。

早期発見で

完全な治療

エキノコックス症は、早い時期には外科的な治療によって治ります。もともとも良い時期は潜伏期から進行期へ移るころで、外科的治療も容易であり完全な治療ができます。なお、進行期から末期の場合でも、病気の進行をくい止めて社会生活へ復帰できるような治療はできます。このためにも自分から進んで健康診断を受けることが大切です。

幕別では昨年からエキノコックス症第一次血液検査を行っており、



かわいらしいキタキツネだが接触しないことが安全

今年も六月二十五・二十六日の両日に行われました。受診者は、昨年は五十人でしたが、今年は昨年の二倍以上の百十六人も人が受診しました。

イヌやネコの

飼育管理を厳重に

重点地域では生ものを口にしないこと

エキノコックスの虫卵は熱に弱いので、煮沸すれば死んでしまいます。水道水を利用すれば安心ですが、水道の設備が無いところは、沸かして飲むか、ろ過装置をつける必要があります。井戸を利用している所は汚染されないよう棒やフタをつけて、周囲の土盛りをするなどの工夫が必要です。

また、山菜や野生の果実などを直接口にしないことです。必ず煮沸するか、きれいに洗って食べるようにしましょう。そして、沢水を直接飲むというところは汚染地域以外でも慎むようにしてください。

イヌやネコの飼育管理を厳重に これらの動物にはキツネ同様エキノコックスの成虫が寄生する条件が備わっています。イヌやネコを飼う場合は、放し飼いは絶対にしないこと、糞便のしまつをよくすることなど飼育管理を厳重にしなければなりません。特に子供たちがイヌやネコなどに触れたときは、よく手洗いをさせるようにしましょう。

道の地域福祉振興事業 幕別町に指定

道内1カ所

道が昭和六十年からスタートさせた地域福祉推進事業の推進町村に今年度、幕別町が全道で唯一指定されました。この事業は、障害者のためのスポーツ、レクリエーション大会などソフト面の事業と、そのための施設などの改修というハード面とを合わせ、総合的、計画的に障害者の社会参加促進、生活圏の拡大を図ろうとするものです。二カ年継続事業で、事業費は一カ年一千万円です。このうちの二分の一(五百万円)を道が補助します。

同事業の指定は砂川市、広島町に次いで幕別町が三番目で、町ではソフト面では、お年寄りと障害者の合同スポーツ大会、ふれあい広場の実施、療育キャンプなどの実施を予定しています。またハード面では、札内福祉センターの自動ドア化、公共施設のトイレの整備、道路の段差解消などを予定しています。

株幕別町地域振興公社が発足 ゴルフ場建設へスタート

来年九月にオープンを目指している札内川河川敷ゴルフ場の運営母体となる「株式会社幕別町地域振興公社」の創立総会が七月十五日、町民会館で行われ、取締役社長に菅原繁光町助役を選出し、ゴルフ場建設に向けてのスタートを切りました。

「株式会社幕別町地域振興公社」は、資本金八千万円のうち発起人の町が二千万円を出資、他の一人七個人が一千万円を出資し、残り四千四百万円を四百四十四株（一株十万円）として株主を一般から募集した結果完売され、創立総会の開催にいたしました。



町民会館で開かれた設立総会

札内川、十勝川の河川敷のオープンスペースを一大レクリエーション基地とする河川緑地整備計画の一部で、十八ホール、コース総延

長約六キロの規模です。

創立総会には株主百二十一人（法人含む）のうち委任状を含めて八十八人が出席しました。林照男町長が議長になって定款の承認、取締役、監査役の選出、「取締役および監査役は無報酬とする」提案を可決しました。今後は、開発局から河川敷地の占用認可が下り次第、ゴルフ場の造成に着手し、今年の十月までに大部分を完成させ、来年の前半に芝生の手入れなどを行い、九月に仮オープンする予定となっています。

なお、役員は次のみなさんです。
 ▽取締役社長Ⅱ菅原繁光 ▽取締役Ⅱ（副社長）斉藤正美、（専務）谷川啓一、（常務）笹井俊治 取締役Ⅱ松野健一、松島由弥、額頼太郎、金尾浩幸、馬淵輝昭、服部博、木川拓二、加藤正則、渋谷清一、高山昇、藤原絃伸
 ▽監査役Ⅱ小田良一、鈴木安雄

故前田秀一さんに 勲五等瑞宝章



長年保護司を務められた札内豊町、前永盛寺住職、前田秀一さん（故人）に対して勲五等瑞宝章が授与され、

七月十五日に町役場で伝達式が行われました。前田さんは昭和二十三年から五十年までの三十年間、保護司として奉仕を続け、今年の五月十五日に八十四歳で亡くなりました。昭和五十三年には町自治功労章を受賞しました。伝達式には営場彰鉦路保護観察所総務課長が来町し、故前田秀一さんの奥さんのキミさんに手渡されました。



遺族の前田キミさんらが出席して行われた伝達式

8月23日に国際大会

22日には国際協会設立総会も

際協会の設立総会も予定されています。これはパークゴルフが道外にも普及するに至って愛好家同士の交流、親ぼくを図ろうというこ



コミュニケーションスポーツ

幕別町で生まれた パークゴルフ

パークゴルフもいよいよ国際化する。夢はでっかく、遊び心もいっぱいにといいこと、八月二十三日に十勝管内に在住している外国人を招待して国際大会が開催されます。また、前日の八月二十二日には幕別温泉ホテルで国際協会の設立総会も予定されています。この大会では日本人参加者は千五百円の参加料が必要ですが、外国人は無料。準備委員会では「協会設立も大会も堅苦しいことは抜きにして遊び心を分かち合おうというのが目的です」と外国人の気軽な参加を呼び掛けています。連絡は町教委（☎54-2006）まで。

幕別高校アーチェリー部 鎌田芳彰君に 南部忠平奨励賞



昭和六十一年度に優れた業績を残した道内のスポーツ選手に贈られる南部忠平奨励賞を幕別高校アーチェリー部の鎌田芳彰君（札内中央町）が受賞しました。

鎌田君は、昨年十月の山梨国体アーチェリー競技少年男子の部で個人・団体の二冠を制覇し、その業績が評価されたものです。昨年十一月には北海道新聞スポーツ賞にも輝いています。



札内駅前商店街の活性化を図ろうと、札内駅舎の一部を使った地元若手経営者による店、コーヒー&ファンシーショップ・SATSUNAIが7月22日にオープンしました。この日はカラオケ大会も行われ、大勢の人でにぎわいました。

JR札内駅舎の 店舗がオープン

江陵高校のボランティアサークルの生徒らが七月二十日、札内の国道三十八号線沿いで交通安全キャンペーンを行いました。この日はサークルの代表五人が手づくりのカッターのマスクット人形をドライバーに手渡し、安全運転を呼びかけました。



江陵高生が交通安全に一役

8年目を迎えた看板設置



町女性ドライバー友の会（永井ハナ会長・会員百六十七人）が七月八日、町道幕別札内線の松木コンクリート工業所西側に交通安全啓発の看板を設置しました。同会では毎年交通安全の標語を盛り込んだ看板を設置しており、今年で八年目を迎えました。



札内西町第一公区（佐藤真雄公区長）が創立10周年を迎え、7月12日に北栄町近隣センターで記念式典が行われました。式典には約60人が出席し、懇親会も行われ、盛大に創立10年の節目を祝い合いました。

西町第一公区が創立10周年



麻工場で利用された。若工場をはじめ管内の各亜炭の最盛期は、昭和二十一年から二十六年ごろまでである。この時代は需要が一段と伸び、地方

活気に満ちていた炭鉱集落 戦後に最盛期を迎えた亜炭産業

やめている。日の目を見た幕別の亜炭産業は、二十五年の歴史と坑道を残して消えてしまった。（記・ふるさと館郷土史部会・坂口順一）

閉山、翌年の三十七年には東亜炭業株式会社が閉山に追い込まれた。その後、個人が受注採炭をしながら、四十年ごろまで当地に在住していた。管内の亜炭業者のほとんどは、それ以前に

この五、六年間をピークに国内の燃料不足時代が解消されつつあった。一方、亜麻製品も化学繊維に押され、幕別工場を含め管内のいくつかの亜麻工場が閉鎖された。亜炭業界もこの影響は大きく、このころから需要の減少が始まった。また、石炭をはじめ石油製品が大量に回り、亜炭業者は八方塞りとなった。経営難から縮小を重ねてきたが採算が取れず、昭和三十六年に千住炭鉱が

幕別 ⑤ 続 ものがたり

あつた。操業が一番早かったのは東亜炭業所で、昭和十六年五月に幌内沢（現在の葬斎場付近）において採炭を始めた。また、戦後間もない二十三年の春には、新田ベニヤ農林部が経営する北新鉱山が茂発谷で、菊地吉之助氏が経営する千住炭鉱が現在の松木コンクリート工業所南部でそれぞれ操業を開始した。そのほかにも三木炭鉱、福田炭鉱など個人の採炭所がいくつもあった。亜炭は戦時中から戦後に

かつて、幕別のいたる所に亜炭層があった。特に根室本線ぞいの稲志別付近から猿別にかけては、亜炭鉱が何力所も点在していた。最盛期には鉱業所周辺に従業員の住宅や長屋が建ち並び、その住宅街で盆踊りなども盛大に行われた時代があった。

から多くの炭鉱マンが集まり活気に満ちた炭鉱集落が存在していた。従業員の多い千住炭鉱や東亜炭業所は二十世帯を超えるほどで、家族の人数は四、五十人はいったというから、ちよつとした街を思わせるほどであった。当時、幕別の採炭量は月産一千トに達していた。千住炭鉱で三百ト、北新鉱山で五・六十ト、東亜炭業では五百トを上回るほどであった。

広報クイズ⑤

500円の図書券が当たる

三つの答えの中から正しいものを選び、はがき
に書いてお送りください。

- ① 7月1日現在の幕別町の人口は女の方が
A)308人多い B)408人多い C)508人多い
- ② 61年度予算の今年3月31日現在の歳出の
執行率は
A)90.7% B)94.7% C)98.7%
- ③ エキノコックス症に感染する可能性のない
行為は
A)山菜を洗わずに生で食べる B)水道水を
飲む C)沢水を直接飲む
- ④ 人気スポーツ・パークゴルフの国際大会
が開催されるのは
A)8月9日 B)8月16日 C)8月23日
- ⑤ 戦後に最盛期を迎えた幕別の鉱業は
A)垂炭産業 B)石炭産業 C)石油産業

【応募方法】

★はがきに答えの記号(例①—A)、住所、
氏名、年齢と、ご意見ご要望、広報を読ん
で一言などを書き添えてください。

全問正解の人の中から抽選で5人に500
円の図書券をプレゼントします。応募は1
人1通に限ります。ご意見などのほか、イ
ラストや漫画、詩、コントなども大歓迎で
す。イラストや漫画は黒色で濃くかいてく
ださい。

★あて先☎089-06 幕別町本町130

役場内・広報係

★締め切り=8月15日(15日の消印有効)

★前回の正解は、①—A、②—B、③—A、
④—C、⑤—Bでした。応募46通で全問正
解は44通。抽選で次の5人が当選しました。

(敬称略)

鈴木景子(9・文京町) 喜多祥子(12・明
野) 久保雅俊(12・古舞) 千葉雄二(37・
桂町) 神野博子(34・相川)



ほ くは今、高校三年生で来春
大学へいく予定ですが、卒
業後は生まれ育ったこの幕別に帰
ってきたいと思っています。父母
が住んでいるだけでなく「豊かな
愛に満ちた町」だと思うので、こ
の町で一生過ごしたいですね。↓
西町 加藤博泰(七)
♣:「豊かな愛に満ちた町」とい
う表現はいいですね。町民みんな
がこの町に住んで良かったといえ



六 月七日午前五時半に起床し、
公区の早朝歩こう会に参加
しました。さわやかな朝の空気、
小鳥のさえずり、農作物の成長の
ようすを知りました。↓**桂町 中
山孝義(五)**
♣:さすががしい朝のようすが
目に浮かんできますね。公区之行
事というのですが、町づくりは
公区づくりからです。これからも

頑張ってください。
ほんの一言
☺:図書券ホシイヨロー! ↓**明野
喜多淳子(四)**
☺:①の答えがなかなかわからな
くて一時間もかかってしまった。
だからとても印象にのこったです。
↓**文京町 沖みゆき(三)**
♣:一生懸命クイズを解いてく
れてありがとう。次回も応募して
くださいネ。
☺:図書券当たりました。さつそ
く本を買いました。嬉しかったで
す。↓**あかしゃ町 阿部和也(六)**
☺:五百円の図書券がほしいナ。
おもしろい記事をもっとのせてネ。
↓**軍岡 佐藤はと子(二)**
おねがい:交通安全協会では交
通安全に関する標語を募集してい
ます。広報クイズへの応募と共に
標語も書き添えていただければう
れしく思います。

ふるさとへの便り...⑰

札幌幕別会を 盛大に開催



ながお 長尾 繁 (41歳)
(札幌市中央区)

幕別を離れて二十数年が
過ぎました。懐しさも募り、
昭和六十年の十二月に多数
の方のご協力により第一回
の札幌幕別会を盛大に開催する
ことができました。会員は札幌
市とその近郊に在住する幕別町
出身者で、当初は百八十人ほど
でしたが、現在は二百五十人と拡
大しつつあります。今後の働き
かけにより五百人の会員数に達
するように努力していきたいと
考えています。
会の運営も単なる古里懐しさ
だけでなく、さまざまな分野で
ご活躍されている方がおります
ので、幕別の皆さんとも一層の
交流を深め、お互いの発展にな
るよう有意義な集いにと願ひし
ています。今後ともよろしくお
願ひいたします。

あなたも町づくりに参加を

私の声を町長に送る旬間

8月5日～14日

あなたも「広聴はがき」で町政に

参加してみませんか。

昭和五十八年度に始まった「私の声を町長に送る旬間」も今年で五回目を迎えました。今年は八月五日から十四日までを旬間として、よりたくさんの方の声を聴き取り、町づくりに反映させます。

広報紙今月号に折り込んである

はがきに、日ごろあなたが考えていること、町政へのアイデア、意見、要望などをお気軽に書いてポストへお入れください。特に今回は、札内川河川緑地の有効利用のアイデア、十年後の町開基百年にむけての町づくりのアイデアなどがありましたらお聴かせください。



昨年寄せられた広聴はがき

はがきは八月十四日までにお出してください。

寄せられたはがきは、町長がすべて目を通し、担当課と協議して回答書を作り、町長の意見を加えて本人へ直接回答します。無記名のもので、回答できませんのでご了承ください。

なお、昨年は七十五通・百十七件の貴重なご意見をいただきました。ありがとうございます。

「寄付ありがとうございます」

町へ：

▽榊小林商店（小林保代表取締役）から二十万円

▽石原利男さん（中央町）から三十万円

社会福祉協議会へ：

▽前田キミさん（豊町）から二十万円

▽幕別ライオンズクラブ（金沢誠会長）から二万四千五百四十六円

▽矢野初子さん（東町）から二万円

▽松浦武さん（千住）から二十万円

老人クラブへ：

▽桜田しづえさん（旭町）から旭町老友会へ一万円

▽桜井都さん（途別）から途別老人クラブへ三万円

▽田村徹雄さん（東町）から札内寿会老人クラブへ二万円

▽折笠要さん（緑町）から緑町老人クラブへカラオケセット一式

その他：

▽松浦武さん（千住）から身体障害者福祉協会十勝支部幕別分会へ三万円

事故防止の決めては「防衛運転」



帯広警察署長 川島 繁

ドライバーはだれもが「交通事故は絶対起こさない。私はだいたいぶだ」と思って運転していることでしょうか。しかし、交通事故は毎日起きています。帯広警察署管内で六月までの半年間に起きた交通事故は三六七件、一日二件の割合で起きています。起こそうと思っただけで起こした事故ではないだけに、逆にいえばだれもが事故を起こす危険性を持っているといえます。また、事故を起こさなくとも、事故に巻きこまれる可能性もあるのです。事故を起こさないことはもちろん、事故にあわないための注意が必要です。それが「防衛運転」です。

たとえば、交差点で自車線が優先道路である場合、一方の道路の車両がハイスピードで一時停止をしそうもないときなどは「転ばぬ先のつえ」、自分から徐行して事故の危険から身を守ってください。

ドライバーのみならず一人ひとりが、お互いに防衛運転に心がけましょう。

ひと

29 ルールとマナーを大切に

町交通安全指導員
お伊藤 一男さん
(青葉町304・61歳)

町の非常勤職員として七月一日付けで交通安全指導員に伊藤一男さんが就任しました。伊藤さんは札内交通安全実践会会長や町交通安全実践会副会長などの要職にもついており、今後のますますの活躍が期待されています。

◇ ◇

「少しでも交通安全推進のお役に立てればと思います、お引き受けしました。札内地区が担当で、十二人いる女性指導員のとりまとめ役や街頭指導、住民の交通安全に対する意見、要望等の聞きとり役などが主な業務です。意見や要望がありまし

たら、お気軽に私の方に言ってきてほしいですね」

◇ ◇

「早急に手がけたいことは、危険カ所の調査、巡回、中・高校生の安全な自転車通学の徹底、通勤時の交通量調査などです。目標はもちろん交通事故撲滅です。今年に入って札内地区では死亡事故はありませんが、事故の数は増加傾向にあります。ドライバーにはゆとり、ゆたたり、ゆとり、ゆずりあいの「フォーゆ運転」を心がけてほしいですね。趣味がパークゴルフですが、交通安全もルールとマナーを大切にしたいですね」

大正十五年三月二十八日幕別に生まれる。奥さんと二人暮らし。

◇ ◇

大正十五年三月二十八日幕別に生まれる。奥さんと二人暮らし。